

1. 地域略図（簡単で結構です）

2. 構成

氏名	続柄	年令	職業	年間農業労働時間	備考(役割分担等)

※家族経営の場合は家族全員の構成を記入する。

※法人経営の場合はその構成員を記入する。

※年令は令和5年9月8日現在の満年令とする。

※年間農業労働時間は令和4年度の実績を記入する。

※家族の中で他産業に従事している場合は、その年間所得を備考欄に記入する。

※職業は農業、公務員、会社員、自営業、学生等と記入する。

3. 経営耕地面積

(単位：アール)

		田	畑	樹園地	耕地計	山林	牧野 牧草地	農用地 合計
経営面積 (うち受託面積)		()	()	()	()	()	()	()
受託 面積	作業 受託							
	経営 受託							

4. 作物の種類と作付面積

(単位：アール)

種類							その他	合計
面積								

5. 飼養家畜と種類と頭羽数

種類								
頭羽数								

※育成牛と搾乳牛は分離して記入する。

6. 施設の所有状況

施設の名称	摘 要	利用作物・家畜	個人・共有の別

※規模については、棟数については、棟数・延面積（単位：㎡）・収容頭羽数などを記入する。

※共有の場合は $\frac{1}{\text{共有戸数}}$ と記入する。

7. 農業用機械類の所有・利用状況

機 械 名	台 数	能 力	年間利用時間	個人・共有の別

※共有の場合は $\frac{1}{\text{共有戸数}}$ と記入する。

8. 経営規模の推移（主要作物の栽培面積・主要家畜の飼養頭羽数の推移をあらわす）

年度	部門				
令 和 2					
令 和 3					
令 和 4					

※受委託経営を行っている場合も、その規模について（ ）を付して記入する。

9. 法人経営について

- (1) 定款、その他主要な規約（別添のこと）
- (2) 収益配分の方法

10. 経営環境の特徴（特別なことが無い限り簡単に結構です）

- (1) 気 象
- (2) 土 壌
- (3) 水 利
- (4) 市 場
- (5) その他

11. 経営の現況

(1) 作付・飼養体系（作付順序・時期・面積、素畜の導入・品種・規模・経営状況などを記入する）

(2) 主要作目別生産量および販売額の推移（最近3か年間の実績）

作目	項目 年度	作付面積 頭羽数	生産量	単位当たり 生産量	販売量	販売額		共販の形態
						計	うち共販額	
	令和2					千円	千円	
	令和3							
	令和4							
	令和2							
	令和3							
	令和4							
	令和2							
	令和3							
	令和4							
	令和2							
	令和3							
	令和4							

※共販の形態については、共販組織名・JAとの関係などについて記入する。

- (3) 肥培・飼養管理の概略（施肥設計・防除形態、飼料の給与方式および種類、鶏舎・畜舎の構造、家畜の糞尿処理方法などを記入する）

- (4) 労働力配分の状況

(令和4年度)

		部 門					
		農業	労働総計				
計		時間	時間	時間	時間	時間	時間
構成員	男						
	女						
雇 用	男						
	女						

※主要部門別に年間労働投下時間を記入する。

- (5) 単位当たり収量・単位当たり労働時間など、当該経営の生産指標と県内生産指標との比較
 (例えば搾乳牛経営にあつては年間搾乳量、分娩率、牧草の反当収量など、当該経営の実績と県農林統計の指標を比較し記入する)

(6) 農業経営収支【全体】(最近3か年間の実績)

(単位：千円)

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
粗収益	生産部門	計①				
		うち、補助金	畑作物の直接支払交付金			
			水田活用の直接支払交付金			
		その他()				
	加工・販売部門	計②				
		うち、補助金	6次産業化 その他()			
小計③						
経営費	生産部門	種苗・苗木費				
		肥料費				
		農業薬剤費				
		もと畜費				
		飼料費				
		家畜償却費				
		獣医及び医薬品費				
		敷料費				
		光熱動力費				
		諸材料費				
		土地改良・水利費				
		賃借料・料金				
		租税公課				
		建物費				
		自動車費				
		農機具費				
		生産管理費				
		労働費	計			
			うち雇用			
		支払利子				
		支払地代				
		その他償却費(建物・自動車・農機具等)				
		計④				
		加工・販売部門				
	計⑤					
小計⑥						
所得	生産部門	所得(①-④)				
	加工・販売部門	所得(②-⑤)				
	経営全体の所得⑦(③-⑥)					
	農外所得⑧					
	所得合計(⑦+⑧)					

注1：労働費には家族労働費を含めて記入。

注2：組織法人経営等の場合は、家族労賃を構成員労賃に置き換えること。

注3：生産部門と加工部門の経費については、部門別の経理処理がなされている場合は部門別に記載。部門別処理がされていない場合には、生産部門に一括して記入し、加工・販売部門の欄に「生産部門に一括記入」と記載。

注4：自社生産物を加工する場合、原料の評価額は売上げには計上しない。

(7) 主要部門別経営収支（最近3か年間の実績）

部門①：

(単位：千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
粗 収 益	計①				
	うち、 補助金				
経 営 費	種苗・苗木費				
	肥料費				
	農業薬剤費				
	もと畜費				
	飼料費				
	家畜償却費				
	獣医及び医薬品費				
	敷料費				
	光熱動力費				
	諸材料費				
	土地改良・水利費				
	賃借料・料金				
	租税公課				
	建物費				
	自動車費				
	農機具費				
	生産管理費				
	労働費	計			
		うち雇用			
	支払利子				
支払地代					
その他償却費（建物・ 自動車・農機具等）					
	小計②				
所 得	所得（①－②）				

注1：労働費には家族労働費を含めて記入。

注2：組織法人経営等の場合は、家族労賃を構成員労賃に置き換えること。

部門②：

(単位：千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
粗 収 益	計①				
	うち、 補助金				
経 営 費	種苗・苗木費				
	肥料費				
	農業薬剤費				
	もと畜費				
	飼料費				
	家畜償却費				
	獣医及び医薬品費				
	敷料費				
	光熱動力費				
	諸材料費				
	土地改良・水利費				
	賃借料・料金				
	租税公課				
	建物費				
	自動車費				
	農機具費				
	生産管理費				
	労働費	計			
		うち雇用			
	支払利子				
	支払地代				
	その他償却費（建物・ 自動車・農機具等）				
	小計②				
所 得	所得（①－②）				

注1：労働費には家族労働費を含めて記入。

注2：組織法人経営等の場合は、家族労賃を構成員労賃に置き換えること。

部門③：

(単位：千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
粗 収 益	計①				
	うち、 補助金				
経 営 費	種苗・苗木費				
	肥料費				
	農業薬剤費				
	もと畜費				
	飼料費				
	家畜償却費				
	獣医及び医薬品費				
	敷料費				
	光熱動力費				
	諸材料費				
	土地改良・水利費				
	賃借料・料金				
	租税公課				
	建物費				
	自動車費				
	農機具費				
	生産管理費				
	労働費	計			
		うち雇用			
	支払利子				
	支払地代				
	その他償却費（建物・ 自動車・農機具等）				
	小計②				
所 得	所得（①－②）				

注1：労働費には家族労働費を含めて記入。

注2：組織法人経営等の場合は、家族労賃を構成員労賃に置き換えること。

(8) 営農資金等の借入状況

(令和4年度末時点)

借入資金名	使用金の用途	借入先	当初借入年月	当初借入金額	償還完了年月	借入残高
				千円		千円

(7) 今年度の他賞への応募状況

賞の名称等	主催者	備考

審 査 講 評 (都道府県名)

審 査 委 員 長 役 職 名
氏 名